



〒030-0180
青森県東二階町3丁目1番6号
東 奥 日 報 社
電 話 017-739-1111
(C)東奥日報社 2004

インターネット
号外

の
購読
お問い合わせは

東奥日報社販売局
0120-40-0000

24時間受付

イラク派遣3次隊出発

140人 青森空港から

陸上自衛隊第九師団(司令部・青森市)を主軸とする第三次イラク復興支援群の隊旗授与式が八日午後、青森市の青森駐屯地で行われた。石破茂防衛庁長官が、支援群長の松村五郎一等陸佐(45)＝埼玉県出身＝に部隊の

象徴となる隊旗を手渡した。第一陣の派遣隊員約百四十人は同日夕、陸自幹部や家族が見送る中、空自特別航空輸送隊(北海道千歳市)所属の政府専用機で青森空港を出発した。

隊旗授与式で、石破長官は隊員約五百人を

前に国際協調と日米同盟の重要性を強調し、「武力の行使をするわけではないが、厳しい環境の中で民生を安定させることは、治安の確立と車の両輪である」と訓示。「新しい歴史を刻んでくれることを確信し、任務の達成を祈念する」と激励した。

松村五郎群長は式終了後に記者会見し、「国民、イラクの人々からの信頼にこたえる部隊でありたい。純粋な心を持つ東北人の特性を生かしてイラクの人々に真心の通う支援をしていきたい」と抱負を述べた。

第一陣の派遣隊員約百四十人は青森駐屯地内を行進し、ほかの隊員らの見送りを受けた後、松村群長が石破長官にイラクへの出発を報告。家族らが見守る中、派遣隊員は青森空港で先崎一陸幕長らと握手を交わし、政府専用機に乗り込み、夕刻に飛び立った。



家族らに見送られ出発する派遣隊員ら＝8日午後、青森駐屯地